

で国会通常
党共産日本

国民と団結し、安倍政治に対決 貧困・格差の打開、憲法9条、政治とカネで論戦

1月25日、通常国会が始まりました。

国会内などでは、党国会議員団と各種団体による集会や懇談会がさかんに開かれ、佐々木憲昭衆院議員、井上さとし参院議員も参加して決意を述べています。

井上議員は、1月22日には、全

労連会館で開かれた、教育基本法改悪を許さないたたかいのまとめ・交流会に出席。「教育基本法改悪を許さない各界連絡会」と「教育基本法全国ネットワーク」の共催で開かれたもの。全労連の坂内三夫議長、堀尾輝久元東大教授に続いて、井上さとし参院議員が挨拶しました。

佐々木議員、労働 弁護団の集会で挨拶

1月24日、日本労働弁護団が主催する、「『労働法制国会』を闘おう」集会に日本共産党を代表して参加した佐々木憲昭衆院議員は次のように連帯の挨拶しました。

「安倍内閣が発足して、初めての予算は、定率減税の全廃で労働者に増税を押しつける一方、大資産家だけが利益を受ける証券優遇税制をわざわざ1年継続したり、空前の儲けをあげている大企業にさらに減価償却制度を変えて減税するという、逆立ちしたものになっていま

す。同時に、働き方のルールの変更、労働法制の改悪が焦点となります。ホワイトカラーエグゼンプションは安倍総理の「国会への提出を見送る」との発言も、厚生労働省の次官や柳沢厚生労働大臣が、従来と変わっていないことを前提にして事を進める考えを記者会見し、国会提出をあきらめたわけではない。これを徹底的に追及する決意です」

井上議員、昼休みデモ、市民集会 学費値上げストップ請願など

また、1月25日には、国民大運動実行委員会の昼デモ（写真）と、同実行委の開会日集会に井上参院議員が参加。また、同日の憲法改悪ストップの市民集会や弁護士政治連盟の新年祝賀会にも参加し、あいさつしました。

さらに29日、井上議員は、全学連の学費値上げ反対の請願署名を受け、全教の役員と文教部会との懇談会にも出席しました。

静岡県党が政府交渉



1月26日、井上さとし参院議員は、平賀高成参院予定候補、沢登秀信下田市議、横嶋隆二南伊豆町議とともに、廃棄

家電の不法処分に問題で経産省・環境省に要請しました。

市当局が業者と一体となって家電リサイクル法の抜け穴を使い、リサイクルすべき家電を一般廃棄物として処理していたのです。市当局の対応は、環境省、経産省の対応者もあきれほどのひどさ。国としての必要な指導を求めつつ、家電リサイクル法の見直しも求めました。



連日、愛知県事選で奮闘するせこさん。1月29日は半田市で政談演説会で演説。会場はイス席がなくなるくらいいっぱいの人で熱気にあふれました。



1月27日、佐々木議員は、「ゴルフダイジェスト」週刊編集部インタビューを受けました。選挙にむけて、各党の見解を聞きたいというも

の。ゴルファーにとってどの政党が味方なのか、という問題意識で、「すぐに引き受けてくれたのが、自民党と共産党でした」とのこと。